

はあもにい 第 14 号

昭和 48 年 1 月 13 日 第 3 種  
郵便物認可  
H S K 通巻 405 号  
発行 2005 年 12 月 10 日  
発行人 北海道身体障害者  
団体定期刊行物協  
会 (H S K)  
細川 久美子  
〒063 札幌市西区八  
軒 8 条 東 5 丁目 4-18  
110 円  
定価  
編集 はあもにい編集委員会  
(0144) 87-3800

利用者が考えてくれた『ハッスル★ハッスルでGO!』の愛泉園まつりテーマを合言葉に、一ヶ月以上前から利用者も職員と共に準備や出し物の練習にと頑張り、近づくその時を今か今かと待ち望む日々が続きました。そして、平成十七年十月二日の日曜日。清々しい秋晴れの中、第十七回白老愛泉園まつりが開催されました。

大勢のお客様が来場する中、利用者や職員で『世界に一つだけの花』の歌と手話を発表し、練習の成果を十分発揮することが出来て満面の笑顔を見せる利用者を見て、また来年の愛泉園まつりでも利用者と楽しく笑顔で迎えていければと思いました。又、園舎前のステージではにぎやかな音楽や猿回しなどの出し物が次々と披露され、飲食物のテントは沢山の人で混雑し、グラウンドではフリーマーケットや利用者が汗水流して栽培した実りある農作物や原木椎茸が販売所の机の上に並び、とても大盛況でした。

### 第 17 回白老愛泉園まつり



# 第2回 ユニバーサルベーキングカップ

## ななかまどの「シフォンケーキ」

### ジャパンベッカーマイスター協会賞受賞!!

#### 《パン部門》

サクッとした生地に手作りの「道産イチゴジャム」を使用したディニッシュです。



#### 《焼き菓子部門》

「道産小麦」と「白老産元気たまご」のコラボレーション。しっとり、ふんわり、にんまり♡



「ユニバーサルベーキングカップ」とは、パン・菓子製造を行なっている全国の福祉施設を対象として、二年に一度開かれるコンテストです。（今年で二回目です。）両部門共、応募製品が多数寄せられ、質の高い大会であることは間違いありません。そんな中、ポプリは「イチゴディニッシュ」、ななかまどは人気の「シフォンケーキ」で初挑戦することに。

一次審査は書類選考により通過!! 二次審査では焼き上げた製品を審査会へ送り、結果を待ちました。『二次審査通過』の知らせがあり、見事「シフォンケーキ」が本大会の出場権を獲得しました。1/29には館谷町長の激励を受け、いざ本大会の地「横浜」へ。

大会当日は利用者二名と職員一名で製造を行いました。皆、緊張も高まり気分はもう「料理の鉄人」、「どっちの料理ショー」のようだったと後に店長は熱く語っていました(笑)。

結果「シフォンケーキ」は初出場ながらも『ジャパンベッカーマイスター協会賞（銀賞）』を受賞!! この受賞は日頃から頑張っている利用者にとって、大変大きな励みになると同時に自信へとつながるものです。応援頂いたみなさま、ありがとうございました。



荣誉ある表彰状

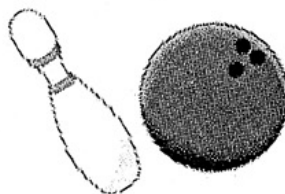




▼ポプリには希望するサークルに所属し、自由な参加が可能なサークル活動があります。①よさこい②スポーツ③カラオケ④ボウリング、計4班で自分達の持ち味を出して楽しく活動しています。このサークル活動を通じて、利用者それぞれがこれらの体験の中から自分達でできることを一つでも実現できるようになればと思っています。今回小樽にて、大々的なボウリング大会が行われる事を知り、春先のサークル活動からずいぶん出場を目標に練習をしてきましたので、参加した利用者はとても楽しみに待ち望んでいましたし、これからのやる気・自信につながっていくものになったのではないかと思います。

▼当日は愛泉園利用者5名を含めた17名での参加となり、全道から集まった障がい者のみなさんたちと共に「ストライク」を狙ってハッスル!! ハッスル!! それぞれ皆さん会場の雰囲気緊張しながらも、落ち着いて真剣にピンを倒そうと頑張っていました。入賞したのは唯一人「北川さん」。「ガンバッター賞」なるものをいただきました。皆さんも「来年こそは!!」とやる気充分で帰ってきました。

▼これからもサークル活動を通じて、今回のような大会に参加していければと思います。



あぶろニュース

「地域の中で生き生きと暮らしている皆さんの姿を見て、頼もしく思っています。これからも町内会の一員として、さらに交流を広げていきたいと思います。」8月20日青葉ハウスの裏庭で「青葉会焼肉夕食会」を開催しました。冒頭の野口町内会長の挨拶に続き、同町内在住の小田井監事の乾杯が始まり、カラオケあり、お喋りありと全ホーム利用者・各世話人及び職員との親睦をかねた焼肉夕食会が盛大に実施されました。



☆今年度は、日曜企画として札幌ドームの野球観戦、体育の日には5キロのフェアミリーウォーキングに参加文化の日にもポロト湖散策と小行事

を行ってきました。また写真愛好家の伊東さんが、町内の写真サークルに入会し、文化祭をはじめ一般の方々と共に作品展示の発表をしています。

☆11月12・13日、青葉会一泊旅行兼世話人研修がありました。自治会の代表者による運営委員会を事前に開き、行き先（伊達市・洞爺湖）の詳しい行程や各役割分担等を決めました。

当日は晴天ながらも気温の低い日でしたが、13時に白老を出発し最初に伊達市地域支援センターにて世話人研修を受ける方と、直接ホテルに向かう利用者組とに分かれました。研修先の伊達市内には80数ヶ所のグループホームや寮などに260名程の利用者が地域生活を送っており、特に24時間対応のグループホームを視察して多くを学びました。

研修を終えた世話人等が宿泊先の洞爺万世閣に合流し、夕食会で再び全員が揃いました。事前の打ち合わせの成果があり、会の進行・挨拶やゲーム等、各利用者がその役割について大変良く頑張りました。皆さんお疲れ様でした。

# ハロウィン企画

10/25から10/31までの一週間、なかなかまでにて秋の目玉企画として「ハロウィン」にちなんだ商品4品目を期間限定販売しました。販売前には関係者・新聞各社に集まって頂き、試食会を開いて商品の見直しを直前まで行なったことで、より完成度の高いものに仕上げる事ができましたし、期間中も即日完売と大成功におわかりました。



「一部の商品に関しては反響が強く、今後の販売も検討中です。」  
初日は仮装してパレードする地域の保育園児一人ひとりに一品プレゼントする催しも大変喜ばれました。



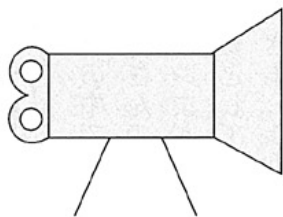
この事業にポプリ利用者では余暇活動の一環として、ウォーキング5キロに参加しました。当日、雨で肌寒い日でしたが、皆さん寒さも気にせず元気に地域の方と「がんばって！もう少しでゴールだ!!」などと会話を交わしたり、仲間同士で仕事の話や最近の事を話しながら歩いてとても楽しそうでした。



10月10日体育の日に白老町で「ファミリーウォーキング大会」がありました。



今回、初めて地域の行事に参加してみても地域の方と利用者との間で接する機会ができ、良い体験をしたと思います。また来年は走りた方もいましたので、走る人と歩く人に別れて参加したいと思います。



## 思い出写真館





### 第十四回白老町青少年育成大会 優良勤労青少年顕彰

「ポプリ」に勤務されている中道康元支援員が、白老町青少年育成大会において、優良勤労青少年として表彰されました。昨年より商工会の青年部に所属し、その活動に積極的に取り組み、公私ともに誠実で献身的な活動が評価されました。今後とも地域に根ざす活動を通じて、益々ご活躍されることを願っております。

### 個人情報保護に 関する方針・お願い

当法人では、個人情報保護に関する基本方針ならびに規程を鋭意検討作成中であります。

しかし、昨今の社会情勢を鑑み個人情報保有する事業者として、基本的な考え方を明示する責任があると考えます。

当法人は、知的障がい者更生施設白老愛泉園、知的障がい者通所授産施設ポプリ、分場ななかまど、地域生活支援センターあぶろを利用される方々の支援に係る目的のために個人の情報を適切に収集し、利用しています。取得した情報は、その個人へのサービス提供に必要とされる目的（個別支援計画の作成や会計上の処理など）の他に、支援会議等の資料の目的で使用されることをご了承願います。又、当機関紙等による広報活動に際して、これらの個人情報の一部が使用されることをご了承願います。尚、職員には、個人情報の守秘義務を明文化し、その履行を求め、個人情報の取扱いに配慮することを求めています。

よさこいクラブまねき猫は北海道知的障がい者芸術祭「みんなあーと」に参加しました。今年で二度目の参加という事もあり気合い十分踊りに挑みました。今回は会場ステージと販売会場である北海道庁赤レンガ前で演舞を行いました。「みんな頑張るぞ!!」。いつものかけ声でステージの演舞が始まりました。たくさんのお客様と審査員の方が見守る中いつも以上に大きな踊りと大きな声で頑張りました。ステージいっぱい華やかな衣装が揺らいで見えたと思います。ステージでの演舞が終わり赤レンガへ移動、札幌の青空の下、踊りを披露しました。みなさん少し疲れも見えましたが踊りを終えたその表情はとても満足している様子でした。そして待ちに待った表彰式。狙うは大賞！利用者の方は胸をドキドキ高鳴らせまねき猫が呼ばれるのを待っていました。今回の受賞は奨励賞でしたが帰りのバスの中は大盛り上がりでした。みなさん本当にお疲れさまでした。

まねき猫

### やったね！ 奨励賞受賞



### 白老愛泉園

#### 旅行に行ってきました

#### 社会見学旅行

平成十七年度社会見学旅行、第一班と二班は札幌近郊へ二泊三日の日程で行ってきました。

一日目はルスツリゾートで遊園地を満喫！のはずが一班は雨に降られてしまい、急ぎよJRタワーに変更。最上階からの景色を堪能しました。二班は天候に恵まれ、様々なアトラクションに乗ってルスを満喫しました。

二日目はチヨコレートファクトリーで、白い恋人を一枚無料でもらって大喜び、昼食はジンギスカンでおなか一杯!!夜は飲んで、食べて、カラオケして大盛り上がりとなりました。

第三班は、一泊二日の日程で登別に行きました。宿泊先の登別温泉花ゆらでは、新鮮なアワビやカニが盛られた豪華和食に舌鼓、部屋の露天風呂ですっかり癒されました。

全員、それぞれ旅先で楽しみ、無事に旅行を終えました。



社会見学旅行にて



ドッチボールの  
オニ見参?



去る十月二十六日、平取町平取体育館にて、北海道知的障がい施設協会日胆地方会のフレンドシップフェスティバルが行われ、三名の利用者と共に参加してきました。

開会式のあと、二つの施設で一つのチームとなりトーナメント形式でドッチボールを行いました。愛泉園の選ばれしメンバー達の投げる・受ける・そして見事にかわす活躍により準優勝を獲得!! 胆振日高地区の施設間交流とはいえ、やはり勝負事は勝ちたいもの。このままいけば上位で表彰されるのでは?と淡い思いを抱かせるほどの活躍でした。

ただ、その後のハッピーボーリング(体育館にマットを敷きやるもの)ではガーターの連発。そして椅子取りゲームでも早々に敗退...そんな中、椅子を譲ってしまったている姿を目にした時、勝負の鬼にはなれない反面優しい気持ちの持ち主であることを再確認できました。

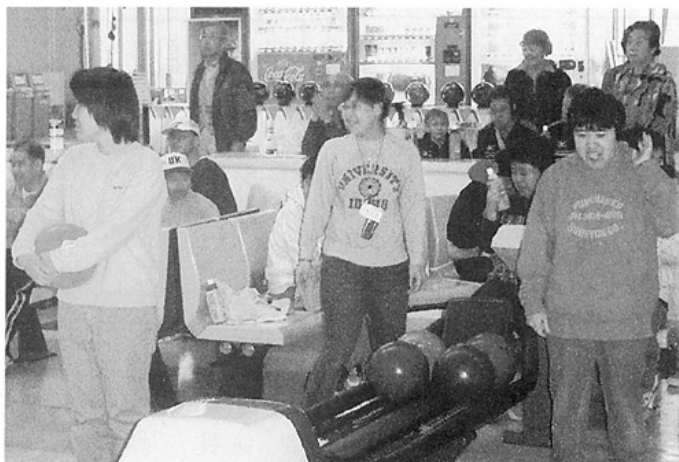
上位表彰はされなかったものの参加賞を頂き、有意義な時間を過ごすことができましたと思います。

愛泉園

ボウリングは  
世界を救う?

十月二十一日(金)白老町内のボウリング場にて、民生委員の皆様とボウリングを行い交流をはかりました。毎年、秋の恒例行事となつたこの交流会。民生委員の皆様とボウリングをするのが楽しみで当日は、朝早くから起きワクワク、ソワソワの様子。会場に着き、皆さんに会い「こんにちは」と元気に挨拶。さて、待ちに待ったボウリング!!

美しいフォームで投げストライクを決める方、コロコロとボールを転がし、ガーターになつても最後までボールの行方をみつめる方、みなさんフォームや投げ方は違ふけれど終始笑顔で楽しんでました。また、民生委員の皆様と「やたあ!!」「あー残念!!」と一喜一憂している姿・又ゲームを楽しむ姿をみると、利用者さんにとって良い思い出の交流になったのではと思われました。利用者のSさんが最後に「来年もよろしく願ひします!!」とお願いしてました。(笑)



《新利用者の紹介》

◆ 大西 樹億さん  
平成17年11月1日より  
ポプリ利用

《移動利用者の紹介》

◆ 穴生 宏さん  
平成17年10月1日より  
ポプリから愛泉園通所部へ  
佐々木健夫さん  
平成17年10月1日より  
ポプリ利用